



ようやく艶やかな錦秋の頃となり11月19日(火)20日(水)の1泊2日間、6年生が奈良と京都へ修学旅行に行ってきました。修学旅行の目的に加えて、1,2組でそれぞれ学級の3か条を掲げて学習に臨みました。どちらの学級にも共通するキーワードは、【**仲間と共に楽しく学ぶ・友情や団結力を深める・マナーや時間を守る**】などでした。これにふさわしく、6年生児童全員が登校時間内に集合して、最高の天気のもと修学旅行の出発となりました。保護者、教職員、地域の方々、登校中の先輩中学生など、多くの方々バスに手を振ってくださり、改めて**常磐学区の心の温かさ**を感じました。



奈良最初の見学地は、聖徳太子ゆかりの法隆寺。現存する世界最古の木造建築物群である金堂や五重塔を有し、子供たちを悠久の歴史の世界へといざなってくれました。釈迦三尊像や百済観音像、玉虫厨子などの国宝や多くの重要文化財に見入りながらガイドさんの説明に真剣に耳を傾け、学びを深めていきました。



午後から訪れたのは奈良公園。滝山寺の仁王門を毎日見ている子どもたちですが、それをしのご東大寺南大門の大きさと、運慶や快慶らによってつくられた金剛力士像に圧倒されていました。さらに大仏殿へと足を進め、いよいよ奈良の大仏様とのご対面。子供たちは、高さ約15mで校舎よりも高く5階建てのビルに相当する大仏様を見上げた時に、自然と足が止まっていた。大仏殿の中も世界各国からの観光客であふれかえっていましたが、幸運にも大仏様の鼻の穴とほぼ同じ大きさの穴をくぐる「柱くぐり」がすいてお

り、予定を変更して班行動前に多くの子がチャレンジして柱をくぐることができました。大人になって成長するとなかなかくぐりづらいので、今回できたのはきっと良い思い出になるに違いありません。その後はお土産を買ったり鹿にせんべいをあげたりしながら、宿泊地の京都へと向かいました。



京都の宿でも子供たちは大満足。おかみさんをはじめ、笑顔いっぱい思いやりいっぱいのスタッフの皆様からたくさんのおもてなしをいただき、美味しい夕食に心もお腹も満たされました。伝統工芸体験も夢中になって取り組み、作品作りに没頭していました。漆塗りの絵付師さんは「元気で明るく話をよく聞いてくれて、とてもやりやすかったです」と、お褒めの言葉をいただきました。**マナーを守り、仲間と共に楽しく学ぶ6年生の姿**が随所に見られました。続く。

